

報告事項

令和4年度「郡山市職員フロンティア賞」の決定について

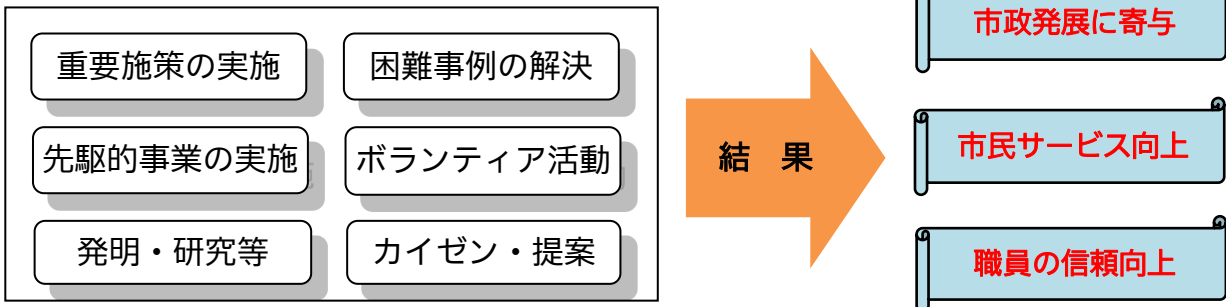
郡山市職員フロンティア賞について

郡山市職員フロンティア賞の目的

本市に脈々と受け継がれる開拓者精神や全体の奉仕者としての強い自覚のもと、職務に精励し、複雑化・多様化する市民ニーズを的確に捉え、市民サービスの向上に寄与した職員を表彰することにより、職員の資質と意欲の向上及び組織の活性化を図る。(平成26年度より実施)

郡山市職員フロンティア賞の対象

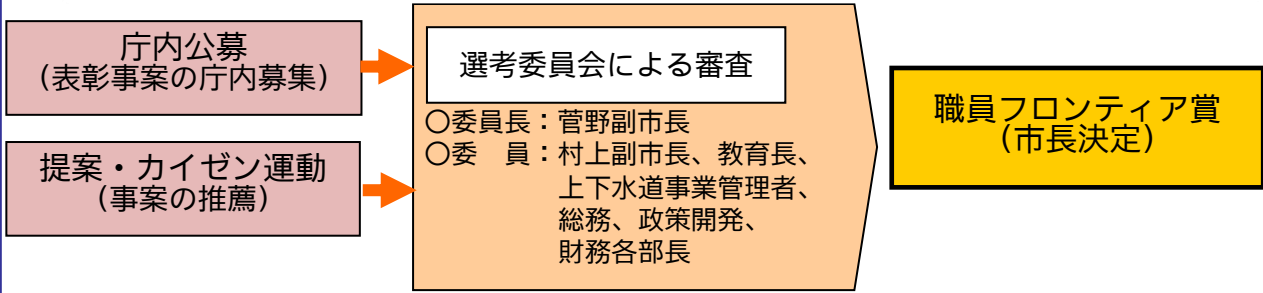
○個人または課（グループを含む）等の組織を対象



その他、縁の下の力持ちや地道に頑張る職員も積極的に評価

令和4年度郡山市職員フロンティア賞決定までの流れ

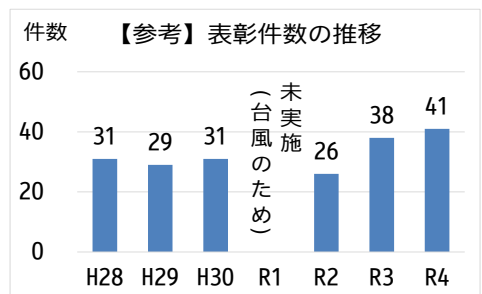
今年度は、令和3年12月1日から令和4年11月30日の取組みが対象



表彰件数

令和4年度表彰件数（詳細は別添のとおり）

	件数	該当分野 ※分野の重複あり		
		デジタル田園	統計	カイゼン
フロンティア賞	41	27	1	32
(うちSDGs賞)	22	18	1	14



3月24日に表彰式を開催予定



# 令和4年度郡山市職員フロンティア賞表彰一覧（全41件）

No.	タイトル	対象者	概要	特別賞	分野		
					デジタル田園	統計	カイゼン
1	DX化庁内カイゼン事例報告会の実施	人事課	行政のDX化をさらに加速するため、中堅職員を対象に本市におけるDX導入の先進事例を紹介し、DXの導入手法を学ぶとともに、DX導入の気づき（ヒント）を促すための報告会を開催した。		■	□	□
2	こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾2022（2班）の取り組み	こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾2022 2班	住民ニーズを的確に捉え地域の魅力を高めた住民満足度の高いまちづくりを実現するため、新しい発想のもと知恵と工夫を活かした実効性のある施策を広域連携事業として、圏域内の若手職員とともにオンライン・対面を併用した討議により、政策立案に取り組んだ。	SDGs賞 (デジタル田園)	■	□	□
3	地域がつながる みんなのフェスinこおりやま	男女共同参画課 マイナンバー推進課 文化振興課	だれもが自分らしく安心して共生できる男女参画社会の実現に向けて、「つながる」をテーマに多世代、多様性、SDGs、環境・リサイクルについて考え行動するきっかけ作りや、地域ぐるみでの子育てを推進する環境作りのため、子育て支援団体の「しゅふコミ」と「市」、「(公財)郡山市文化・学び振興公社」が共催し、多くの企業、団体の協力・協賛を得てイベントを開催した。	SDGs賞 (デジタル田園)	■	□	□
4	「エコドライブ・安全運転コンテスト」への対応	セーフコミュニティ課	あいおいニッセイ同和損害保険(株)との包括連携協定に基づく交通安全イベントとして、12月1日から12月31日までの期間において、テレマティクス技術を活用した「エコドライブ・安全運転コンテスト」を実施した。	SDGs賞 (デジタル田園)	■	□	□
5	「オンデマンド」配信用前講座動画の作成・提供	セーフコミュニティ課	成年年齢引下げに伴い、消費者教育・啓発事業として学生向けに、契約の基礎知識や若者に多いインターネットトラブル等の事例等に関する動画を作成・配信した。	SDGs賞 (デジタル田園)	■	□	□
6	地区別データの作成	セーフコミュニティ課 セーフコミュニティ推進室	関係機関から各種データを収集し、郡山市内の2017年から2021年までの「交通事故」「犯罪」「救急搬送」「火災」の市全体データを地区別にグラフで見える化し、ウェブで公表した。 交通事故、犯罪は、交番ごとの24地区、救急搬送、火事は、行政区15地区でまとめ、交通事故件数と犯罪件数は、人口1万人当たりで地区ごとに比較できるようにした。	SDGs賞 (統計)	□	■	□
7	手話歌でつながろう “SDGs” プロジェクト	障がい福祉課	持続可能な社会の実現に向けて、子供から大人まで誰にでもわかりやすく表現されているNHKの「SDGsのうた」の楽曲を使用し、歌詞をわかりやすい手話で表現した手話歌を通じ、世代や障害の有無にかかわらず、SDGsに関する理解を深めていただくとともに、手話の普及や障がいに対する理解と社会的障壁に対する意識向上を図るため、各種団体に手話歌の動画への参加を募り、人と人のつながりにより「みんなの街を未来につなげるため」のメッセージとして郡山市公式YouTubeチャンネルで発信した。	SDGs賞 (デジタル田園)	■	□	□
8	夏のDigi田甲子園における郡山市の迅速な要介護認定事務の情報発信	介護保険課	デジタル技術をフル活用した迅速な要介護認定事務（AIによる調査票の整合性確認、オンライン審査会等）について、夏のDigi田甲子園の福島県代表として参加し、その取組内容や成果（業務量やコストの削減）を全国に発信した。 ※ Digi田甲子園：デジタルの活用により地域の個別課題を実際に解決し、住民の暮らしの利便性と豊かさの向上や、地域の産業振興につながっている取組について表彰する制度（審査は有識者の審査及び国民のインターネット投票）	SDGs賞 (デジタル田園)	■	□	□
9	本市における「田んぼダム」の取組の中間総括と事例発表	味戸 宏樹 (農地課)	本市における「田んぼダム」の取組は、日本大学工学部との連携による効果検証などを経て進められ、当初、水田6.6haでの取組が、2021年度には29.8haの大規模な取組により36.4haまで推進された。今回の中間総括では、これまでの市の活動を取りまとめるとともに、アンケート調査をとおして「田んぼダム」の認知度やニーズを把握し、今後の推進へ向けた方針を見出した。 また、県・市町村職員等の研修会においても、本市の取組を県内先進事例として発表した。	SDGs賞 (デジタル田園)	■	□	□

# 令和4年度郡山市職員フロンティア賞表彰一覧（全41件）

No.	タイトル	対象者	概要	特別賞	分野		
					デジタル田園	統計	カイゼン
10	瞬間検索！職員録	人事課	職員録について、Excelの目次シートを作成し、ハイパーリンクを活用して職員録の該当ページに飛べるようにしたことで、電話対応時などに瞬時に課内職員を検索できるようになった。データのままでのほうが検索しやすく使いやすいため、紙出力することがなくなった。	SDGs賞 (デジタル田園・カイゼン)	■	□	■
11	庶務システム「よくあるお問い合わせ集」の作成	人事課	所属からのシステムの問い合わせに対応するため、「よくあるお問い合わせ集」を作成し、掲示板や庶務事務システムのお知らせ欄に掲載・周知した。 これにより問い合わせ数が減少するとともに、マニュアルを参照したうえでの問い合わせが多くなり、手続き方法を案内しやすくなった。		■	□	■
12	健康保険に係る事務移管	職員厚生課	地方公務員等共済組合法の改正に伴い、令和4年10月1日から多くの会計年度任用職員の健康保険が協会健保から共済組合に移行されたことに併せて、①事務フローの見直し、②一部事務移管（教育委員会→職員厚生課）による手続き窓口の一元化、③特集をはじめとした職員への周知の強化を行った。		□	□	■
13	かんたん便利！エクセルでQRコード作成！	馬場 守吉 (行政マネジメント課)	ウェブサイトやオンライン会議等のQRコードの作成に関して、エクセルの機能を利用し、アドレスをセルに張り付けるだけで、QRコードの作成ができるツールを作成し、カイゼン通信で全庁展開を図った。 これによりメールの外部リンクへのウェブサイト閲覧等が簡単にできるようになった。	SDGs賞 (デジタル田園・カイゼン)	■	□	■
14	議案書作成・決算業務のDX化	財政課	議案書作成について、膨大な議案書と確認資料を紙印刷のうえ作成・チェック作業を行っていたものを電子化し、タブレットでの作業に変えた。 また、決算業務においても紙資料を大量に印刷のうえ手書きにより作業を行っていたが、これも電子化した。	SDGs賞 (デジタル田園・カイゼン)	■	□	■
15	予算査定DX化	財政課	予算査定業務については、部長・次長兼課長・補佐・班長・班員分で担当部局の膨大な予算要求・査定資料を紙印刷のうえ財務部査定を行っていたが、これを電子化し、タブレットでの査定に変えた。		■	□	■
16	ふるさと納税における寄附受入データの一括整理	市民税課	ふるさと納税寄附受付ポータルサイトに蓄積される寄附者情報について、これまで手でデータ整理を行っていたが、マクロを活用することで大部分の整理を一括で行え、大幅な作業時間短縮につながった。	SDGs賞 (デジタル田園・カイゼン)	■	□	■
17	24時間365日、新增築家屋調査の予約可能！	資産税課	R4年2月に稼働したオンライン手続の仕組みを活用し、パソコン・スマートフォン・タブレットによる家屋調査の予約を可能とした。申請フォームにより必要事項や注意事項の案内を兼ねるとともに、図面等の添付機能により、現地調査に要する時間の短縮や所有者の都合によっては現地調査を省略できるようにした。併せて、メールアドレスの入力欄を設け、その後の必要なやり取りを電子化することも可能とした。	SDGs賞 (デジタル田園・カイゼン)	■	□	■
18	国民健康保険新規加入者等に対する国保税の口座振替納付の勧奨について	国保税収納課	国民健康保険新規加入時の手続きの際に、A4判3連式の「市税等預金口座振替依頼書」に比べ利便性の高いはがきタイプの国保税に特化した「口座振替依頼書」を作成し勧奨チラシと併せて、各窓口において勧奨強化を図った。	SDGs賞 (カイゼン)	□	□	■

# 令和4年度郡山市職員フロンティア賞表彰一覧（全41件）

No.	タイトル	対象者	概要	特別賞	分野		
					デジタル田園	統計	カイゼン
19	おくやみ手続きの負担軽減～一目でわかる手続き案内と申請書印字で安心・スピーディに～	市民課	故人に係る手続きは、遺族にとって分かりにくく、手続きの負担が大きかったため、死亡者情報のデータベース化と担当部署間における情報共有を実施し、担当部署において事前に死亡者一人ひとりの手続きを確認し、一覧表にまとめ、遺族へ郵送することとした。これにより、遺族が容易に必要な手続きを確認できるようになった。	SDGs賞 (デジタル田園・カイゼン)	■	□	■
20	市長・教育長訪問業務について	スポーツ振興課	市長・教育長訪問に係る訪問団体担当者との事前の連絡調整（訪問日時、来訪者等）について、所定の様式を提出してもらうことで必要な情報のやり取りが1回で済むようにした。■		■	□	■
21	庁内プロモーション担当部署のイベント情報共有！	国際政策課	3課（国際政策課、観光課、園芸畜産振興課）が保有するイベント情報を時系列順にまとめ、開催地や来場者の種類、集客予想人数等を加えたリストにまとめた。また、ファイルサーバに専用フォルダを設けて当該リストを格納し、常に更新できるようにしたほか、各種イベント業務に親和性のあるスポーツ振興課や広聴広報課も閲覧できるようにした。 これにより複数課間の部署で連携してイベントを実施できるようになった。		■	□	■
22	後納郵便差出方法の短時間カイゼン	障がい福祉課	後納郵便の際に提出する差出表について、紙ではなくエクセルのリスト入力により差出をする方法に変更し、日々の集計を簡易なエクセル操作で完了するようにし、同時に月ごとの取りまとめもデータ化した。 これにより日々の集計が短縮され、郵便の締め切り時間を後ろ倒しにすることが可能になった。	SDGs賞 (デジタル田園・カイゼン)	■	□	■
23	申請手続きの簡素化	障がい福祉課	6つの業務の申請手続きについてプロセスを見直し、規則等を改正して、申請書類をリニューアルした。市民の方の申請時間の減少、年間1万枚程度の用紙の削減を見込んでいる。	SDGs賞 (カイゼン)	□	□	■
24	結婚新生活スタートアップ支援補助金オンライン予約・問合せの仕組み整備	小林 祐貴子 (こども政策課)	結婚新生活スタートアップ支援補助金交付申請受付業務において、「かんたん電子申請」を活用しオンライン予約及び問合せフォームを設置した。 この取り組みにより、申請者からの電話問合せ件数を削減することができ、申請者が窓口で待つことなく受付ができるようになったことに加え、来庁予定が管理できることで職員の業務実施の効率化にも寄与した。	SDGs賞 (デジタル田園・カイゼン)	■	□	■
25	“市民ファースト”を目指して～市民サービス向上へ～	富田行政センター	行政センターのレイアウト変更及び職員席のフリーアドレス化を実施した。また、相談・キッズスペースを増設するとともに、窓口案内担当職員を配置した。 事務効率の改善と迅速な窓口対応により受け身の対応ではなく積極的な市民ファーストの対応を心掛けるようになり、市民の方も職員も笑顔が多くなった。管理職も含めて全体制で窓口業務を行うことで職員間のコミュニケーションがさらに深まり団結力が強固になった。	SDGs賞 (カイゼン)	□	□	■
26	コロナ感染症対策パーテーション設置	逢瀬行政センター	マイナンバーを申請するお客様の写真撮影にも対応できるよう、コロナ感染症対策用仕切り板を設置式の仕切り板ではなく、天井から透明シートを下げスライド式にした。 これにより、仕切り板を移動させる手間がなくなったとともに、カウンターも広くなり窓口業務がやりやすくなった。		□	□	■
27	マイナンバーカード普及推進DX化	喜久田行政センター	行政センター内の待合スペースにあったデジタルサイネージを入口前へ移動し、なおかつ、デジタルサイネージの隣にチラシを設置し、マイナンバーカードの広報を行った。		■	□	■

# 令和4年度郡山市職員フロンティア賞表彰一覧（全41件）

No.	タイトル	対象者	概要	特別賞	分野		
					デジタル田園	統計	カイゼン
28	窓口関係申請書類等の見える化と行政センター対口支援時への備え	富久山行政センター	行政センターの窓口担当者が取扱う各種申請書類について、書類を分類ごと（関係課ごと）に収納ケースを分け、さらに各申請書類ごとに仕分けし、収納している申請書類名を明示したことで、必要な申請書類を、誰もが速やかに探し出すことができ、業務の効率化が図られた。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
29	電話機ナンバーディスプレイの活用	湖南行政センター	電話機に住民手続関係所管課の電話番号をあらかじめ登録した。 電話機のナンバーディスプレイに電話番号のみではなく課名も表示されるようにしたことで、担当職員が即座に電話に出れるようになり、他の職員による担当職員への電話取次ぎによるタイムロスの軽減につながった。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
30	ほっとひとこと	佐藤 美和 (熱海行政センター)	来所者がお帰りになる際に、「お気を付けてお帰りください」等の声掛けをしているが、声掛けに加えて、小さなメッセージカードを作成し、お客様が座るカウンターに配置した。 「冬道です お足もとに気を付けてお帰りください」等の季節に合わせたメッセージも作成し、ほっとする空間の演出になっている。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
31	事務室内の整理	西田行政センター	窓口業務の申請書やチラシの配置場所として、窓口カウンターの下や作業台下のデッドスペースを活用した。窓口から各資料が近くなったことで素早く必要書類を出すことができるようになり、お客様を待たせる時間が短縮された。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
32	マイナンバーカード申請等のお客様へのスムーズな窓口誘導	中田行政センター	マイナンバーカードの手続きで来所する方が迷わないように、来所者が体温測定器で体温を測定したときに目にとまるところにマイナンバーカード窓口への案内表示板を設置した。 体温測定の際に案内表示板を見ることができると、来所者のスムーズな誘導につながり市民サービスの向上が図られた。		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
33	運転日誌兼日常点検表のペーパーレス化	菅野 晃一 (国際政策課)	本課所管の公用自動車は局内で共用しているが、運転日誌兼日常点検表の媒体を紙から電子に変更し、ファイルサーバに保存し、データを共用化したことで、日誌の所在が分からなくなることがなくなるとともに、様式を印刷する必要がなくなった。 また電子媒体においてブルダウンや数式を使用することで、入力個所が限定されたため、職員による日々の記入及び取り纏め事務に要する負担が軽減された。■	SDGs賞 (デジタル田園・カイゼン)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
34	事業参加申請手続きの簡略化	上下水道局総務課	これまで、事業参加申請手続きについて、「かんたん電子申請」を整備し、ウェブサイトの行事広報ページからリンクにより遷移できるようにするとともに、メールやFAXでの申請において使用する様式を整備しウェブサイトに掲示した。これにより利用者の手続きの簡略化を図ることができた。	SDGs賞 (デジタル田園・カイゼン)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
35	電子入札業務の可視化	山野辺 辰也 (上下水道局総務課)	電子入札に従事している職員が周囲にも分かるように、表示板を使用し、電子入札の執行中であることを可視化した。 これにより、他の係の職員にも入札執行中であることが確認できるようになった結果、喫緊の要件以外の電話対応は、入札終了後に対応する旨伝えてもらえるようになったなど、業務に集中できるようになり、事務効率の向上と事務ミス防止につながっている。		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
36	公営企業会計研修の実施	経営管理課	企業会計の仕組みを理解できる研修動画を作成するとともに、上下水道局の全職員を対象に研修を行った。 これにより料金がどのように成り立っているのかの理解を深めることができた。■		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

# 令和4年度郡山市職員フロンティア賞表彰一覧（全41件）

No.	タイトル	対象者	概要	特別賞	分野		
					デジタル田園	統計	カイゼン
37	複合機とグリーン活用で配水量揭示事務カイゼン	浄水課	R3年6月に堀口浄水場と荒井浄水場に複合機（メール送信機能有）が導入されたことから、R4年度以降、各浄水場の配水量を毎朝、堀口浄水場と荒井浄水場から複合機でグリーンメールの浄水課宛に送信し、浄水課で統計し、グリーンスペースに毎日掲載する方法に改め、通信費や印刷経費の削減を図った。	SDGs賞 (デジタル田園・カイゼン)	■	□	■
38	契約通知書の写しの保管方法の変更	浄水課	契約通知書の写しを「修繕」、「その他」、「物品購入業者の名称別」にインデックスを貼ったクリアファイルに保管するようにして、すぐに対象の契約通知の写しを見つけられるようにした。 納品時に該当する契約通知書をすぐに見つけることが可能になり、納品業者を待たせることなく納品物の確認を確実に実施し、納品ミスのリスクも減らすことができたようになった。		□	□	■
39	朝礼での安全運転に関する取り組み	水道施設課	交通事故の削減に向けた更なる職員の意識高揚と知識の向上を図るため、交通法規や自身の体験談などを含めた交通安全に関するスピーチを、毎週月曜日の朝礼時に職員が持ち回り（毎週1名）で実施した。 職員一人一人が、交通法規や事故について考え、調べ、発表することにより、確実に交通安全に対する心構えや、交通法規の基礎知識、危機予知の能力等の向上につながっている。		□	□	■
40	補助金等交付申請書の必要事項を一発入力	小関 梓彩 (学校管理課)	補助金等交付事務に関して、補助金等交付申請書をエクセルシート化し、学校名、学校の所在地及びPTA名の一覧表をあらかじめ作成し、学校を選択すれば、学校名、学校の所在地及びPTA名が自動入力されるよう関数を挿入した。学校の所在地やPTA名、PTA会長名の誤りが激減し、訂正作業がほぼなくなった。		■	□	■
41	毎月の支払業務を自動化	林 康樹 (農業委員会事務局)	毎月の支払について、入力作業をRPAにて自動化したことで、入力ミスもなくなり事務時間の削減が図られた。		■	□	■

## 令和4年度表彰件数

	件数	該当分野 ※分野の重複あり		
		デジタル田園	統計	カイゼン
フロンティア賞	41	27	1	32
(うちSDGs賞)	22	18	1	14

## 1 令和4年度カイゼン運動の実施状況

全庁的なカイゼン運動を実施し、32事例の報告があった。

- ・ 5レス（ペーパーレス、ファイルレス、カウンターレス、ムーブレス、キャッシュレス）
- ・ 5S ・ BPR ・ ICT活用 ・ 内部事務カイゼン ・ 窓口カイゼン

## 2 優秀事例等の選定方法

- ・ 郡山市職員及び広域圏自治体職員の事前投票により優秀3事例を選出
- ・ 動画配信による事例発表を実施し、市長、副市長、上下水道事業管理者、教育長、代表監査委員、各部局長、外部講評者による最終投票を実施

## 3 投票結果

賞	タイトル	チーム名（所属）
最優秀賞	おくやみ手続きの負担軽減 ～一目でわかる手続き案内と申請書印字で安心・スピーディに～	おくやみチーム（市民課）
優秀賞 （市長賞）	24時間365日、新增築家屋調査の予約可能！	税務部資産税課家屋係（資産税課）
優秀賞	瞬間検索！職員録	チーム総務（人事課）

※最優秀賞を受賞した市民課は、第15回全国都市改善改革実践事例発表会に参加予定

### 第15回全国都市改善改革実践事例発表会

- ・ 開催日：3月24日（金）
- ・ 開催地：なかのZERO（東京都中野区）
- ※全国17自治体発表予定



## 4 横展開可能な主な事例

### (1) 全庁的に活用可能な事例

No.	カイゼン事例	報告所属
1	かんたん便利！エクセルでQRコード作成！ (QRコードを作成できるExcelを作成)	行政マネジメント課
2	後納郵便差出方法の時短カイゼン (集計用Excelを作成)	障がい福祉課
3	朝礼での安全運転に関する取り組み (朝礼で安全運転に関するスピーチを実施)	水道施設課

### (2) 各課の状況に合わせて活用可能な事例

No.	カイゼン事例	報告所属
1	庁内プロモーション担当部署のイベント情報共有！ (ファイルサーバを利用した情報共有の効率化)	国際政策課
2	結婚新生活スタートアップ支援補助金オンライン予約・問合せの仕組み整備 (オンライン化)	こども政策課
3	公営企業会計研修の実施 (研修動画の製作)	経営管理課

### (3) 組み合わせることでより効果的になる事例

No.	内容	参考カイゼン事例	報告所属
1	執務室のフリーアドレス化	“市民ファースト”を目指して ～市民サービス向上へ～	富田行政センター
2	申請書等の整理と見える化	窓口関係申請書類等の見える化と行政センター対口支援時への備え	富久山行政センター
3	デジタルサイネージを利用した窓口案内	マイナンバーカード普及推進DX化	喜久田行政センター
4	声かけメッセージの掲示	ほっとひとこと	熱海行政センター



No.	内容	参考カイゼン事例	報告所属
1	マクロを使ったデータ整理	ふるさと納税における寄附受入データの一括整理	市民税課
2	RPAを使用した支払処理	毎月の支払業務を自動化	農業委員会事務局



**実践可能な事例の積極的な活用や、複数事例の効果的な組合せ等を図り、全庁的な横展開を図ってまいります。**